

● 埼玉県医師会

健康手帳

膀胱炎

30歳の女性が「急ぐ、血が混じって心配！」と昨日の夕方から尿を出す時に強い痛みがあり、出し切らずに尿が残っている感じで、尿が近くなり、夜よく眠れなかった。今朝からは、さらにつらくなり、尿の色も濁って赤



石井クリニック（北浦和）
石井 泰憲院長

膀胱炎には急性と慢性があります。急性膀胱炎の原因は細菌の感染です。尿検査で、白血球、細菌が観察されて診断がつきます。女性は尿道が短いので細菌が入

りやすく、体調不良で免疫力が低下したときや、排尿を我慢したとき、性交、冷え、便秘などは膀胱炎の誘引になります。膀胱は尿を出すことで、尿の中の細菌を洗い出し、細菌が膀胱に残らないようにしていま

す。健康な時の膀胱は、膀胱の中に細菌が入りこんでも膀胱炎を起しません。しかし排尿を我慢すると細菌が膀胱内にいる時間が長くなり、細菌が繁殖します。治療として、なるべく水分を多く取って尿量を増やしてください。排尿は我慢せず、痛くても頻回に出すこと。排尿によって細菌が

訴えて来院されました。この患者さんのように、女性に多くみられる排尿時の痛み、残尿感、頻尿・尿の濁りは急性膀胱（ぼうこう）炎の症状です。

しかし排尿を我慢すると細菌が膀胱内にいる時間が長くなり、細菌が繁殖します。治療として、なるべく水分を多く取って尿量を増やしてください。排尿は我慢せず、痛くても頻回に出すこと。排尿によって細菌が

洗い流されます。食べ物の制限はありませんが、アルコール、わさび、コショウなどの刺激物は避けた方が良いでしょう。体は冷やさないように。入浴もかまいません。膀胱炎だけでは発熱しません。しかし、細菌が腎臓まで上がって腎盂腎（じんうじん）炎になると高熱が出ます。抗生剤の点滴治療が必要になります。繰り返しの発症したり治りにくい場合は、尿路に他の病気、ヘルペスなども考えられるので精密検査が必要です。泌尿器科の受診をおすすめします。